



花が咲ききる前に行うカンパニュラの収穫作業。枝が折れないよう、ハサミを使って丁寧に切る



出荷まで2年～3年かけるクレマチスの栽培



収穫した翌日に行う出荷箱への箱詰め作業

Profile

平成28年8月に就農し、妻と2人で暮らす。花巻ブルーのクレマチスとカンパニュラ、鉢植リンドウのほか、ガーデンマムやダリアなどの花を25aで栽培。米3ha、野菜10aも栽培する。農福連携にも取り組み、7人が働く。JA鉢花生産部会やJA花巻地域花き生産部会の一員でもある。モットーは「継続は力なり」。



取材した日は、JA職員を含めて練習試合！華やかなシュートや珍プレーがあり、交流を深めながら共に汗を流しました。拓也さんも巧みな足技でチームに貢献！試合を盛り上げました。

【コーナータイトルの由来】
「GREEN SOLDIERS」は「グリーンソルジャーズ」と読み、「農追い人」と併せ、「農業に夢や希望を持って働く人」という意味を込めています。毎月、若手農業者や新規就農者を紹介します。

趣味・マイブーム
フットサル
就農後に、同級生と共に始めました。同級生やその子どもたちと月2回練習。チームの中で試合を行うなど、みんなでワイワイ楽しんでいます。



農追い人

GREEN SOLDIERS

ふち ざわ たく や
洲 澤 拓 也
花巻市

前職の経験活かした生産活動
花巻ブルー広めて産地貢献を

JA管内で生産する青色系統の花「花巻ブルー」。花巻市の偉人・宮沢賢治にちなんで命名したこの花々を、全国に発信しようとする若き生産者がいる。それが洲澤拓也さんだ。

拓也さんは東京農業大学を卒業後、営業や販売の知識を身に付けたいとIT業界に約10年間勤務。最後は花のインターネット通販に従事した。拓也さんは「この経験が今も活かしている。求められる花を作るという意識が芽生えた」と話す。その後、平成28年に帰郷。父の代から始めた花栽培を継いだ。

花巻ブルーを仕事柄知っていた拓也さん。産地として盛り上げていく事を知り、栽培を決めた。拓也さんは「宮沢賢治の世界観をシリーズ化しているのが魅力。冬を越す花のため、丈夫で花色が鮮やかに出るのもポイント」と魅力を話す。就農3年目、経験が足りない部分は両親

や先輩から学んで補うほか、巡回などの部会行事に参加。自分の状況と比べ、ベストと感じた事を実践している。試行錯誤を重ねる拓也さんが気を付けている事は、適期の作業。よく観察し、花が肥料や水を欲しがっているタイミングで作業する。

「消費者の反応を伺う機会があるとモチベーションが上がると」、PR活動も積極的に行う。市場の展示会に年2回参加するほか、地元の温泉施設で展示と販売を実施。最近では、全国放送のテレビ番組で紹介されるなど、成果が上がっている。

拓也さんは「花巻ブルーをまずは地元の方に知ってほしい。そして県内や全国に広まれば」と展望を話す一方で、「技術を磨きながら先輩方が築いた産地に貢献していきたい」と地元を愛する。栽培・営業・販売。全て経験してきた拓也さん特有の活躍に目が離せない。

ちょっといい話
JAいわて花巻オリジナル品種
日本初 八重咲きリンドウが今秋デビュー！
「花巻ブルー」に仲間入り！

平成27年にデビューしたJAいわて花巻オリジナル品種の鉢植リンドウ「花巻銀河ブルー」。生産者たちが手塩にかけて育てた美しい花々は、異例ともいえる数々の賞を受賞した。

それから4年。今秋に新たなJAオリジナル品種の鉢植リンドウがデビューする。その名は「青孔雀」と「桜孔雀」。リンドウの常識を覆す八重咲きだ。9月の出荷開始に向け、生産者たちは一丸となって丹精込めた栽培に取り組んでいる。すべては、消費者の笑顔のために。

洲澤拓也さんも今秋に向けて栽培。一つ一つ丁寧に育てています。



桜孔雀

青孔雀

●No.257 / 令和元年(2019)7月号

ぼらーの花巻 CONTENTS

02	農追い人 GREEN SOLDIERS	10	ぼらーのNEWS ● 地域の話
04	組合長就任のごあいさつ	12	あぐりネット
06	特集 スマート農業	14	Information ● 理事会だより / 監事会だより
		16	私が先生あなたも先生 ● 編集後記